

三井記念 病院通信

Mitsui Memorial Hospital PR Magazine

2020年 秋冬号

MMH NEWS

祝日稼働日のご案内 (2021年1月～2021年12月)

2021年1月～2021年12月の祝日稼働日は以下の通りとさせていただきます。
何卒ご理解いただきます様よろしくお願い申し上げます。

2021年 祝日稼働日(通常診療)

- 2月23日(火) 天皇誕生日
- 4月29日(木) 昭和の日
- 11月3日(水) 文化の日

お問い合わせ | 三井記念病院 経営企画部 TEL:03-3862-9111(代表)



社会福祉法人

三井記念病院

〒101-8643 東京都千代田区神田和泉町1番地 TEL:03-3862-9111(代表)



三井記念病院
ホームページ



【特集】 新設「大腸外科」

●三井記念病院の登録医紹介
あさくさ橋心臓と血管のクリニック

三井手帖

特集 **すすむ医療**



救える命がそこにある。
新しい医療技術、新しい薬。
日進月歩で進んでいく医療。

医療技術の進歩に伴い、医療の現場はどのように変化しているのか。
新しい技術とは一体どのようなものなのか。
三井記念病院通信では、こうした実情を医療の最前線で活躍する専門医がひも解いていく「特集 すすむ医療」を企画しました。
病気についての正しい知識を身につけ、早期発見・早期治療に取り組んでいきましょう。



Interview 田代 浄 医師
1998年(平成10年)3月 埼玉医科大学医学部卒業
東京医科大学八王子医療センター 移植外科研修医
2004年(平成16年)4月 三井記念病院 消化器外科専門レジデント
2007年(平成19年)4月 埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 助教
2017年(平成29年)4月 青梅市立総合病院外科 副部長
2020年(令和2年)1月 聖路加国際病院 消化器・一般外科 医長
2020年(令和2年)10月 三井記念病院大腸外科 部長

新設「大腸外科」

日本国内で1年間に約158,000人*が診断される大腸がん。部位別罹患率はすべてのがんのなかで最も高く、女性のがん死亡数も最も多くなっています。治療方法は内視鏡治療や外科手術、抗がん剤治療、放射線治療と多岐にわたるため、診療科の垣根を越えワンチームで治療をマネジメントしていくことが求められます。そこで、チームの軸となる診療科が必要になると鑑み、大腸外科の設立に至りました。

*厚生労働省ウェブサイト
がん登録 全国がん登録 罹患数・率報告平成28年報告より

●大腸がんのデータ

罹患率が高い部位

	男性	女性
1位	前立腺	乳房
2位	胃	大腸
3位	大腸	肺
4位	肝臓	胃
5位	膵臓	子宮

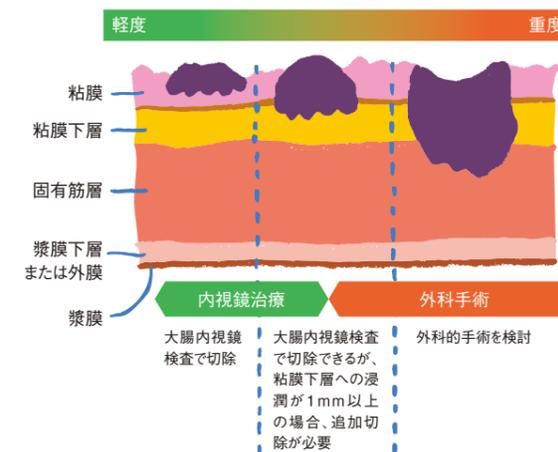
*国立がん研究センターウェブサイト
がん情報サービス がん登録・統計 部位別がん罹患率(2017年)

大腸がん治療の“軸”となる大腸外科

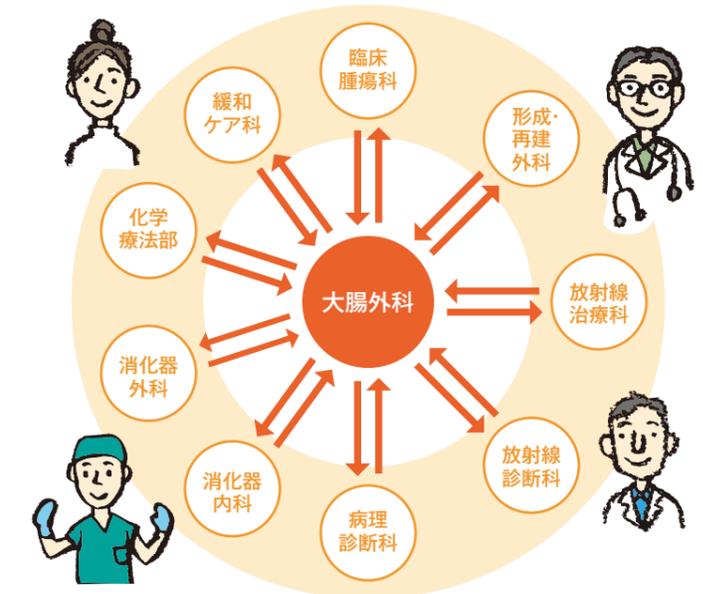
—主な診療内容を教えてください。

大腸疾患の多くは、大腸の壁の一部分が腸管の外側に向かって風船のように飛び出す大腸憩室炎や、自分の免疫細胞が腸の細胞を攻撃してしまうことで腸に炎症を起こす炎症性腸疾患、痔核・痔瘻・裂肛をはじめとする直腸肛門疾患などの良性疾患と悪性腫瘍です。ごく早期の大腸がんであれば、肛門から内視鏡を挿入してがんを切除する内視鏡治療を検討し、消化器内科へ依頼しますが、内視鏡治療の適応にならない結腸・直腸の早期がんと進行がんに対しては、大腸外科が主に手術を担当します。

●大腸がんの深達度



●大腸外科を軸とした大腸がん治療体制の図



—大腸外科を新設した理由を教えてください。

大腸がんは、臨床腫瘍科、放射線治療科、化学療法部、緩和ケア科などさまざまな科をまたいだ治療が必要となるため、場合によっては患者さんが宙ぶらりんの状態になってしまふことがありました。回転する車輪のハブのように、大腸外科が“軸”となり、窓口として機能すれば、患者さんの状態に合わせて他の科に振り分け、紹介することができます。また、何かあれば大腸外科に戻り、再び別の科を紹介することもできます。今、何が必要なかが分からない、次にどの科に行けばいいのかが分からない、そういう状態を未然に防ぎたいと考え、大腸外科を設立しました。

部位別死亡数 (男性)

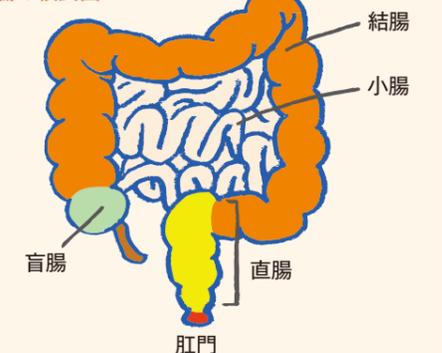


*国立がん研究センターウェブサイト がん情報サービス がん登録・統計 部位別がん死亡数(2018年)

部位別死亡数 (女性)



大腸の模式図



—消化器外科との違いは何ですか？

大腸外科は、基本的に消化器外科の一部です。以前は食道・胃・大腸など、疾患部位に関わらず消化器外科の外科医が何でも担当しており、当院の医師もそういったジェネラリストとしての外科医の役割を担ってきました。一方で、近年は専門性も求められるようになってきています。大腸の分野は日進月歩で研究が進んでいますし、大腸がんは罹患率が高いですから、誰が診てもいい疾患ではありません。そのように考え、特に専門性を高めた科として大腸外科を設立しました。もちろん、消化器外科の医師が大腸を診る場合もありますが、より専門的な治療が必要な場合には大腸外科が診療を行います。

—大腸外科の新設によって、院内の連携はどのような変化があるのでしょうか？

「大腸」とつく疾患や症状があれば、他科の先生もまず大腸外科に相談するようになるでしょう。以前は何でも外科医に相談するが多かったのですが、今は専門性が求められる時代ですし、登録医からの紹介システムも整っていますので、院内外を問わず、「大腸」とつく疾患については大腸外科に回してもらおうようになっていくと思います。

経験豊富な医師が担う
拡大手術が“最後の砦”に

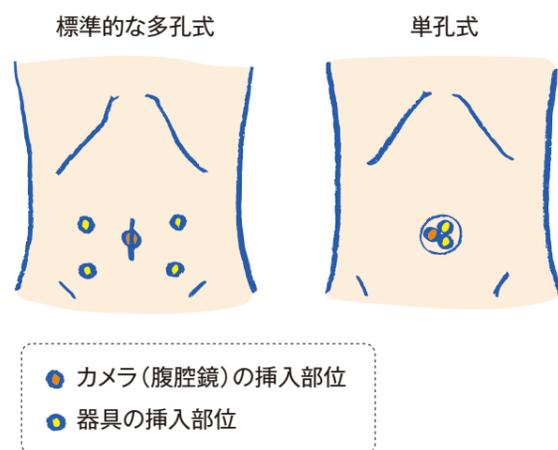
—大腸外科の強みを教えてください。

一番は、手術を中心とした治療が行えることです。大腸がん治療では「切れる外科医」が減ってきています。「手術は難しい」と断られた患者さんでも、大きな手術を経験した医師が揃う当院なら可能かもしれません。患者さんはがんを「取る」ことにこだわる場合も多いため、手術を軸としながら放射線や抗がん剤を含めて治療する、という選択肢を提示できます。

具体的に言うと、進行がん、再発がんは、抗がん剤治療や放射線治療を組み合わせる上で、周囲の臓器を含めて切除する拡大手術による根治を目指します。拡大手術を“最後の砦”として、手術困難とされた疾患に対して再検討を加えた上で手術の可否を判断しています。手術の難度は高くなりますので、十分な経験を持った外科チームにより行われるべきものと考えています。大腸外科では拡大手術の成績を国内外で報告しており、十分な説明と同意の上で安全に提供することができます。

また、美容面で優れている、おへそ一つの傷でおこなう単孔式腹腔鏡手術も得意としております。がんの切除からリンパ節郭清まで、お臍の小さな傷から手術のすべてを行います。これまでに100名以上の患者さんへ施行し、通常の腹腔鏡手術と比べても遜色のない良好な手術成績を国内外で報告しています。若い患者さんをはじめ、希望があれば対応していますので、遠慮なくご相談ください。

●多孔式と単孔式のイメージ



なお、大腸外科では消化器外科と協力し、ロボット支援下手術を導入しております。腹腔鏡手術をロボット支援下に行うもので、出血量が少なく、腸管運動の回復も早いといった腹腔鏡下手術の利点に加えて、がんの根治性や肛門・排尿・性機能などの機能温存の向上が期待されています。肛門に近い直腸がんの場合、肛門の筋肉の一部(外肛門括約筋)を温存しながらがんを取り除く肛門温存術式、「括約筋間直腸切除術(ISR)」を実施し、できる限り自然肛門を残すように努めています。経験豊富な大腸外科、臨床腫瘍科、放射線治療科が力を合わせて積極的に治療に取り組んでおりますので、直腸がん局所再発と診断された場合にも、セカンドオピニオンとしてご相談ください。

外科手術に留まらず、
ベストな治療法を探し続ける

—大腸がん治療のトレンドを教えてください。

新薬が続々と登場していることです。抗がん剤治療の選択



腹腔鏡手術の様子



手術を行う田代医師

肢として免疫チェックポイント阻害剤などの免疫療法が確立されつつあるなど、いずれの治療法も日進月歩で進歩しています。外科領域では、従来の治療で再発が多かった進行直腸がんに対して、より強力な抗がん剤治療と放射線治療、腹腔鏡手術・ロボット支援下手術などの最先端の低侵襲手術を組み合わせることで、がんの再発を減らすだけでなく、体に優しい治療が行われるようになってきました。

個人的に注目しているのは、“Watch and Wait療法”です。肛門に近い直腸がんに対して、術前に抗がん剤治療、放射線治療を併用し、がんの徴候がすべて消失した患者さんにはすぐに手術を行わず、慎重に経過観察して手術を回避する方法です。自然肛門を温存できる究極の肛門温存治療となります。日本有数の施設では臨床研究が行われており、着実にデータが蓄積されてきています。

重要なのは「患者さんにとってベストな治療を提供すること」だと考えています。したがって、得意とする拡大手術とは真逆の方法も、常にリサーチ・研究し、患者さんにとって最善の治療方法を探っています。強みである外科治療を突き詰めることが目的ではなく、いつでも「患者さんの回復」を軸としています。

大腸がん治療進歩への貢献と
患者さんのために邁進したい

—大腸外科の今後の展望を教えてください。

大腸疾患の診断から治療まで迅速かつ総合的に患者さんをサポートし、地域医療に貢献していきたいと考えています。また、患者さんから新しく得られる知識や必要な技術、臨床デー

タを日々蓄積し、国内外へ発信することで、大腸がん治療の進歩に貢献していきたいです。そのためにも、どの患者さんにも同じ治療の質を担保するシステムの構築を目指しています。

良い治療には、医師と患者さんの協力、信頼関係が不可欠です。治療効果が優れていると言われる治療法を、すべての患者さんに用いるべきだろうか、効果は少し劣るかも知れないが、穏やかな別の治療法を選ぶべきではないだろうか、あえて何もしないという選択肢もあるのではないだろうか。常に患者さんの意志を尊重し、ときには専門的知識をご理解いただきながら、それぞれの患者さんにとって最善の治療方法を提供することで、心健やかに過ごしていただくことを目指してまいります。

田代先生が
解説

大腸外科について
これだけは知ってほしい
ポイント

- 大腸がんは部位別罹患率が最も高いがんです。
- 大腸外科は、複数の科にまたがる大腸がん治療の軸となることを目的に設立されました。
- 外科手術を中心とした治療が行えることが大腸外科の強みで、身体の傷を最小限に抑える術式やロボット支援下手術なども行っています。
- 外科治療に留まらず、様々な治療法を常にリサーチ・研究し、「患者さんにとってベストな治療法」を探ります。

三井記念病院では、地域医療機関との相互連携を一層密にし、医療を必要とする患者さんのニーズに応え、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指しています。このコーナーでは、三井記念病院の登録医としてご協力いただいている先生方を紹介していきます。

あさくさ橋 心臓と血管のクリニック

2020年4月から診療を開始した、「あさくさ橋心臓と血管のクリニック」。血管内治療（カテーテル治療）のスペシャリストとして今までに一万件近い治療に関わった経験をもつ高橋医師にお話を伺いました。



Interview
高橋 保裕 医師



- 院長：高橋 保裕
- 住所：東京都台東区浅草橋1-18-9 山上ビル2階
- TEL：03-6240-9286
- 診療内容：心臓内科・血管内科・血管外科
- 診療時間：
 - 心臓内科・血管内科外来、循環器ドック：月・水（9:30～13:00、14:30～20:00）土（9:30～17:00）
 - 下肢静脈瘤外来・シャントPTA外来：月・火・水（9:30～13:00、14:30～20:00）土・日（9:30～17:00）
- 休診日：木・金
- URL：https://acvc.jp/

— 医師を目指されたきっかけは？

祖父、父も開業医をしており、医療が身近にある環境で育ちました。当時、実家の付近には医療機関がなかったため地域の住民にとっても頼りにされていた父の姿をみて自分も医師になりたいと考えるようになりました。

— なぜ循環器内科の領域を選ばれたのですか。

循環器内科は心臓など命に直結する分野であることから興味を持ちました。また、研修医時代にみたバルーンカテーテルの治療に感動したことから、循環器内科のなかでも特にカテーテルを専門にしたいと考えました。

— 高橋先生のクリニックで専門的に診療されている「下肢静脈瘤」とはどんな病気ですか。

重力に逆らって心臓に血液を戻す働きを担う脚の静脈の弁が、なんらかの理由で機能低下を起こし、脚に血流が停滞してしまう病気です。脚の血管がぼこぼこするだけではなく、脚がむ

くんだり、だるくなったりする症状が現われます。症状はつらいものの、命に関わる病気ではないため対応している医療機関は多くありません。どこに相談すればよいのかわからず悩んでいらっしゃる患者さんを救いたいと思い、当クリニックでは特に力をいれて診療にあたっています。

— 下肢静脈瘤の治療法について教えてください。

昔は外科手術で原因となる静脈を抜去していたため入院が必要でしたが、今はカテーテル治療も可能です。これまでの経験を活かし、当クリニックでは日帰り治療を行っています。治療時間は30分から1時間ほどです。安全な治療を行うために全身を診察し



治療室

た上で治療に望み、術後は万が一に備えて患者さんといつでも連絡がとれるようにしています。

— 地域医療連携についてはどのようにお考えですか？

クリニックだけでは複数の疾患や、症状が重い患者さんには対応が難しい場合があります。一方、重篤な患者さんを診療する大病院では、「下肢静脈瘤」のような命に関わらない疾患への対応が難しい場合もあります。患者さんをスムーズに適切な治療へつなぐために、各機関が自身の得意分野や対応領域などをアピールし、把握できる場を設けることが必要と考えています。

— 患者さんにメッセージをお願いします。

当クリニックでは心臓、高血圧、血管など様々な循環器疾患に対応しております。また、透析シャントに対するPTA（経皮的血管拡張術）も開始いたしました。何科にかかったらいいかわからない方もまずはお気軽に相談して頂ければと思います。

News

三井記念病院で開催した行事やイベントをご紹介します

2020.05

●2020年5月16日(土)
社会保険労務士に相談しよう!
お仕事に関する個別相談会 開催

2020.07

●2020年7月18日(土)
社会保険労務士に相談しよう!
お仕事に関する個別相談会 開催

2020.09

●2020年9月16日(水)
・がん患者さんとご家族の交流の場
「オンライン! いずみサロン」開催
・地域連携フォーラム
「乳腺センターの設立と形成外科の役割」開催

●2020年9月19日(土)
社会保険労務士に相談しよう!
お仕事に関する個別相談会 開催

2020.10

●2020年10月1日(木)
大腸外科 診療開始

●2020年10月17日(土)
市民公開セミナー
「記憶と時間(一般編) 'Carpe diem'(今を生きる)」
オンラインセミナー開催

●2020年10月21日(土)
地域連携フォーラム
「記憶と時間(専門編) 'Memento mori」開催

●2020年10月23日(金)
青空メモリーカフェ
—もの忘れや認知症について交流しませんか?—
交流会(雨天中止)

Pick Up!

2020年10月17日(土)

市民公開セミナー 「記憶と時間(一般編) 'Carpe diem'(今を生きる)」 オンラインセミナー開催

当院では地域住民や当院患者さんの健康増進や病予防に役立てて頂けるよう市民公開セミナーを開催しています。

今回は、精神科/認知症疾患医療センター 中嶋医師によるセミナー「記憶と時間 'Carpe diem」をオンライン形式で開催しました。記憶の中と実際の時間経過が違っているのかを、時間の流れに影響する因子や脳のメカニズムなどから解説しました。

セミナーの内容は2020年12月まで期間限定でWeb公開しています。是非ご覧ください。



市民公開セミナー
QRコード
(期間限定Web公開)

2020年3月～2020年10月

皆さまから貴重なご寄付をいただきました

▶個人

山野井 謹四郎 様
若林 秀雄 様
吉原 勝美 様
池田 美樹子 様
長谷川 正史 様
石塚 詮 様

伊藤 知彦 様
新堀 美代 様
矢古宇 キヨ子 様
馬場 幸子 様
澤邊 四郎 様
内木 建蔵 様

岡野 勇 様
土橋 伸江 様
小林 正治 様
小林 佐都子 様
下松 義之 様
竹田 禎久 様

本間 義朗 様
山田 孝雄 様
石渡 光男 様
三浦 彌生 様
野瀬 徳雄 様
小林 葉子 様

▶法人

一般財団法人三井報恩会
株式会社キングジム
株式会社タスクオブチカル

▶匿名希望

39名 (順不同)

*当法人への寄付は、社会福祉事業のための寄付金として税制上の優遇措置が適用されます。詳しくは当院経理課までご相談ください。